

議会による 市の決算審査が スタート!

多摩市議会の決算審査

地方自治体では、年間予算に基づいて執行した事業の結果について、議会による決算審査(事業の進め方、お金の使い方が適切だったのかどうかチェックする)を行うことになっています。議会では、議員個人や会派が、それぞれの事業について調査し、議会で質疑、最終的には、決算を認定するかどうか判断します。

多摩市議会では、予算と決算を関連付けて審査するため、議長を除く全議員を委員とする「予算決算特別委員会」を設置し、その中に4つの分科会(総務、健康福祉、生活環境、子ども教育)を設け、個別事業の調査を行っています。

総務分科会

評価対象事業：シティセールス推進事業

選定理由

- ①長期化するコロナ禍により人々の生活やまちの様子も変わりつつある中で、多摩市をどうアピールするのか。来街者をどう増やしていくのか。若い世代の定住促進などが大変に重要であると考えます。この事業がそれにどう対応したのかを検証します。
- ②職員一人ひとりがシティセールス推進のキーパーソンと認識しています。その先頭に立つ、政策監が不在となった今、どのような影響があったのでしょうか。また、影響があったとすれば、今後どのように対応していくかを検証します。

- ③市民自らが魅力を創り上げ、発信をすることも重要と考えます。例えば商店街は地域の活動拠点となり得るので、シティプロモーションの重要なポイントといえるでしょう。

商店街を中心とした地域活性化についても調査、検証をしていきます。



健康福祉分科会

評価対象事業：健幸まちづくり推進事業

選定理由

健幸まちづくり推進事業は、第五次多摩市総合計画・第2期基本計画の柱の事業であり、第3期基本計画でも、「健幸まちづくりのさらなる推進」が基盤となる考え方に位置付けられています。令和3年度はコロナの影響もあり、あまり進んでいない印象を受けました。一方で、コロナ禍で働き方や生活様式が変わったことにより、健幸に対する興味関心はますます高まっていると感じています。

市民に対する健康維持の意識づけなど新たな手法も必要と考えますが、本事業において、令和3年度は

具体的にどのような活動をしてどのような効果があったのか、全庁横断的な連携は、コロナ禍において市民にどのように役立ったのか、また、市民の健康状態を把握する手法、健康無関心層へのアプローチなどについて議論・確認し、評価を行いたいと思います。

